

一般社団法人レジリエンス協会

組織チーム

2014年 第四回研究会

2014.6.27

株式会社インターリスク総研

田代 邦幸

# Agenda

- **(株)パスコ様「リスクマネジメントクラウドサービス」の利用方法に関する議論**
- **BCPに基づく演習の手法**
- **上記に関するディスカッション(17:00 終了予定)**

# BCPに基づく演習の手法

# 演習に関する基礎知識

## ■ 「演習」とは？

- インシデント対応や事業継続のための手順の妥当性を確認するプロセス

## ■ 演習の目的

- ISO22301では「次の目的に利用できる」とされている
  - 方針、計画、手順、教育訓練、装置又は組織間合意の妥当性確認
  - 役割及び責任を担う要員の明確化並びにそれらの教育訓練
  - 組織間の連携及びコミュニケーションの改善
  - 資源の不足部分の特定
  - 個人のパフォーマンスの改善及び改善の機会の特定
  - 臨機応変な対応を練習するために統制された機会

# 「演習」と「訓練」の違い

- 演習は、この方法でうまくいくか確認するために行う  
---> 妥当性の検証
- 訓練は、よりうまく(より早く)できるようになるために行う  
---> 習熟度の向上

繰り返し演習を行うことは、  
習熟度の向上にも役立つ。  
訓練によって妥当性の検証が  
できることもある。

## ■ 映画製作に例えると...


### □ 演習はリハーサル

- 舞台装置や小道具、衣装、機材に問題はないか？カメラの位置や向きは適切か？動きのタイミングは合うか？

### □ 訓練は稽古

- セリフを噛まずに感情をこめて言えるようにする。役に合った自然な動きができるようにする。

# 演習の種類 - 分類例

種類	実施方法	目的	複雑さ
ドリル (Drill)	単一の組織にて、特定の手順をテストする	比較的シンプルなプロセスを評価する	シンプル
セミナー形式の演習 (Seminar exercise)	参加者をいくつかのグループに分け、シナリオと命題に基づいて議論させる	起こりうる状況や、その場面で実施すべき事などについて理解を深める	
机上演習 (Table-top exercise)	参加者を特定の役割に割り当て、シナリオに基づいて、どのように行動すべきか判断させる	特定の組織における緊急時の対応方法を検証する	
シミュレーション (Simulation)	仮想的な場面設定に基づくシナリオや状況付与に対して、どのように判断・行動するかをシミュレーションする	対応手順やそのための準備状況を確認し、状況判断の妥当性や、対応目標の実現性を含めて検証する	
実地演習 (Live play)	実際の人員や機材を動員し、実際に活動する場所で、リアルタイムで演習を行う	できるだけ現実に近い状況を再現して検証を行う	

(参考:BSI PD25666:2010 PUBLISHED DOCUMENT Business continuity management - Guidance on exercising and testing for continuity and contingency programmes)

# BCPに基づく演習を行う意義

- BCPの内容や、BCPを実行に移すための準備状況を検証することを目的とする
  - 対応力を向上させるためのトレーニングが主目的ではない(副次的には対応力向上に繋がるが)
- BCPにもとづくインタラクティブな演習によって、BCP実行時の具体的な手順を確認し、改訂・改善すべき点を明らかにする。

# 今回ご紹介する演習手法の特徴

- 詳細なシナリオを作成しない
  - 演習開始時の場面設定はする
  - 演習の準備にかかる労力が比較的小さい
- 対話・ディスカッションを中心に進める
  - 一つ一つの実施手順を具体的に確認し、演習開始時に決めた場面設定の下でそれが実行可能かを検証する
  - 演習の途中で多少相談に時間がかかっても構わない
- 時間的なプレッシャーをかけない
  - リアルタイム性や即応性を重視しない
  - 所要時間は想像の上で見積もる



# 演習の準備

- **演習の実施対象・範囲を決める**
- **演習参加者を決め、演習実施日時を調整する**
- **演習の目的・目標を明らかにする**
- **演習開始時の場面設定を作成する**
- **演習における制約事項を明らかにする**

# 演習の進め方

1. ファシリテーターが、「この状況で何をしますか？」と質問する
2. 演習参加者は、BCP等の文書を確認し、ここでやるべきことを答える
3. ファシリテーターは上の答えを「実施内容」欄に記入し、さらに右側の欄を埋めるように質問していく
4. 「結果」の欄は、これまでの回答結果と場面設定に基づいて、ファシリテーターが決めて記入する

No.	実施内容	実施者	使用するもの (機材、材料、情報等)	実施場所	開始時刻/ 完了時刻	結果
1	復旧対策本部に所定のメンバーが参集したか確認する。	事務局長	復旧対策本部メンバー表	○F△△会議室	発災2日目 9:00～9:10	復旧対策本部メンバーのうち、数人が集まっていない。
2	復旧対策本部の未参集メンバーを呼ぶ。まず、メンバーが会社にいるか、各職場に行き確認する。また携帯電話のメールアドレスおよび安否確認システムで連絡を試みる。	事務局 ○○さん	復旧対策本部メンバー表 携帯電話	○F△△会議室 および未参集メンバーの職場	9:10～9:30	2名(Aさん、Bさん)については職場におらず、連絡がとれない。これら以外のメンバーは△△会議室に集合した。
3	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
4	お客様からの問合せを受け付けるために、受付電話番号をホームページにアップロードする。	顧客広報対応チーム	メール、パソコン、Notes	サーバールーム	10:00～ 12:00	情報システム部門の協力を得て、サーバールームで Web サイトのデータを直接編集し、作業完了した。
5	お客様からの問合せの記録を行う。	顧客広報対応チーム	お客様問合せ記録シート	○F△△会議室	10:00より開始	事前に用意しておいたお客様問合せシートの枚数が十分ではなかった。白紙に簡易的に枠を記入して対応することとなった。

# 振り返りと報告

- **演習実施直後に、忘れないうちに演習内容を振り返る**
  - **BCPの内容に不備がなかったか？**
    - **手順が足りない、担当者が決まっていない、情報が足りない、**
  - **準備が足りなかったものはあるか？**
  - **困った場面はあったか？**
    - **それは事前準備によって回避可能か？**
  - **今後準備・改善すべきことはあるか？**      **等**

**MS&AD**

## **MS&ADインシュアランスグループ**

**株式会社インターリスク総研**  
**コンサルティング第二部 BCM 第一グループ**

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-105 ワテラスアネックス

Tel: 03-5296-8918 / Fax: 03-5296-8941

<http://www.irric.co.jp>